

工学部で学ぶ数学

ここに1冊の本があります。本の名前は「これならわかる 工学部で学ぶ数学」。工学部で学ぶ応用数学の基礎をわかりやすく1冊にまとめたこの参考書の著者、千葉逸人^{ほやと}さんはなんと現役の京大生。今回は、千葉さんと、友人であり本の出版に協力した白土さんにお話を伺いました。

生協店舗でも取扱中!!

「これならわかる
工学部で学ぶ数学
改訂増補版」
著：千葉逸人
価格：2730円
頁数：416P
発行：プレアデス出版
発売：現代数学社

●出版に至る経緯

千葉：僕がホームページ¹⁾に数学のテキストを載せていたら、出版社の人が見てメールで声をかけてくれたんです。

●出版までの苦労話

千葉：特にないですが、TeX²⁾で文章を打つのは大変でした。

白土：僕は苦労しました。彼が原稿を書いて、誤字脱字やわかりやすさを添削するのが僕だったんです。彼はかなり数学を勉強しているんですが、僕はそれほどでもないの、わからない部分を勉強しないとイケないんです。

●添削を頼んだ理由

千葉：数学ができるわけではないけど、責任感があるから。絶対やってくれる。

白土：僕は、面白いことやってるから応援したいなと。僕は普通の大学生で彼はすごい大学生。だから、本も彼の視点だけでなく、一般人の視点を補うことで洗練されていくと思います。

●この本の売りは？

千葉：いいですか？ 『現役京大生が欲張りな学習書を……』。

白土：本の帯読んでる(笑)。

千葉：普通の専門書と違って1つの分野が短くまとまっていることですね。

白土：僕は院試の勉強をするときはこれを基盤にしました。習っている分野そ

のものがこれに凝縮されているので、そこから復習していけばいい。

— 対象は、院試を受ける方ですか？

千葉：1回生から4回生くらいまで。読者には工学部以外に、理学部の物理系や、会社員の方も多いですね。

●勉強について

千葉：大学の数学を本格的にやり始めたのは、1回生の終わりくらい³⁾から。

白土：かなり勉強時間が長い気がする。バイトの時間も勉強してるし。

千葉：いやもうピンキリですけど。1日10~24時間、ほとんど数学をやります。夢の中でも。数学者でも枕元にペンと紙置いてる人とかいますよね。

白土：僕は10時間はないです。彼を見ていてうわって思いますよ。

— 授業はまじめに出ていましたか？

千葉：うん。

白土：僕もです。本で読めることもあるけど、教授が面白い話をポロっとこぼすのを期待して。それと初めに単位を取っておくと楽です。気持ちが萎えてくるころに単位が残っていると厳しい。

千葉：周りにもやる気をなくした人いっぱいいるね。

●数学の魅力とは？

千葉：それは難しいなあ。お前、彼女のどこが好きなんだよ？

白土：その振り方はおかしい！ ……解

析的な数学のほうが好きだったよね？

千葉：工学部だから、数学を物理や工学に応用するわけじゃないですか。それで自然現象が理解できるのが楽しかった。でも最近は数学そのものの真理というか。……ちょっと数学の女神様⁴⁾の足下が見えちゃった、みたいな。

●出版して良かったこと

千葉：自分の力になりました。人にわかるように説明するには、自分が理解していないといけませんからね。

— 今後も本を出版するご予定はありますか？

千葉：今ホームページに置いてあるテキストを集めたら、1冊か2冊くらいになる⁵⁾と思います。

●新入生・京大生へ

千葉：好きなことを意志を強く持ってやったら何でもいいと思います。

白土：なんとなく単位を揃えるだけなら、過ぎ去ってしまうと何も残らない。コレだと決めたものを勉強すると大学での学びが充実すると思います。何事も苦しんだ時の経験や精神ほど、後々にも身につけてると思いますよ。



▶ 白土さん

◀ 千葉さん

— ありがとうございました。

1) 「Integral Interval (<http://www.geocities.jp/ruy406/>)」。数学に興味がある方は覗いてみては？ 4) 真理と言うとインチキ宗教臭いので、千葉さんはこの言葉を好んで使うのだそうです。一度足下を見てしまうと、もっと上が見たくなって、アッチの世界に行ってしまうらしい。
2) 『テフ』と読みます。レポート・論文作成から商業出版にまで使われる組版ソフトです。
3) この本に取りかかったのは2回生の夏頃。お二方もこの春から、大学院に進学されます。 5) 今度は自分が心の中で見たものが伝わるように書ければいいな、とのこと。お楽しみに。